

令和6年度（第1回）北九州市公共事業評価に関する検討会議 議事録

日 時：令和6年12月24日（火）

15：00～16：30

場 所：市庁舎5階 プレゼンルーム

1 事業内容説明・内部評価結果について

【再評価】小熊野川準用河川改修事業

～事業課から資料1・資料3に基づき説明～

2 質疑応答について

○構成員

スライド7で、費用が増額した理由についてですが、仮設工法を取るようになったことが大きな影響で、8億円増額になったとご説明いただきました。

警察協議において安全面を考慮してというようなどころも書いてありましたが、これは地盤などの詳細な調査以前にある程度把握できていたことではないかと少し疑問に思うところです。補助金を活用して調査した結果変更になったのか、あるいはもともとの計画が少し何か欠けていてそれによって変更になったのか、どちらなのかというところを少しお聞きしたいです。これだけ大きな変更があるというところですので、説明の最後にも今後は計画を立てる段階でというようなお話がありましたが、やはりそういったところに何か活かしていくというところもあって、その辺をちょっとお聞かせください。

○座長

もう一つ、NTTの埋設物の件も含めてご説明いただければと思います。

●事業課

それでは、構成員からご質問を受けた内容についてご説明させていただきます。

今回の場合、仮設工法が当初から把握できたところもあるのではないかとご質問と受けとめました。仮設工法の必要性につきましては、当初から懸念はありましたが、すでに浸水被害を受けて早期に事業着手する必要があったため、まずは過去の実績を参考に積算をさせていただきました。その後、国の事業認可を受けた後に補助金を活用して詳細な調査設計を行わせていただきました。

警察協議につきましても、ある程度の資料をもって協議をさせていただいたところ
です。

早期着手に向けて、今回進めていった結果ではありますが、構成員のおっしゃるとおり、今後につきましては、懸念があるのであれば当初から考慮する等していかなければ

ればならないと考えているところです。

次に、座長からご質問を受けたN T Tの埋設物の件ですが、道路に埋設されていることは把握しておりましたが、今回、詳細な調査設計を行った結果、N T T管がコンクリート巻きされていることが判明しました。当初の計画ではN T T管に干渉しないと考えていましたが、コンクリート巻きを避けるために、勾配を緩くすることとしました。勾配を緩くしたことで流速等が緩やかになりますので、断面等を大きくしたことによる増額が残りの約3億円の中に含まれているところでございます。

○構成員

もう一つ質問させていただきたいのですが、この費用便益比が1.94から1.13に大きく下がっているってところです。今回1.0を超えているので、語弊があるかもしれませんがセーフという感じがなと思います。これが例えば1.0を切ってしまったときのことを考えると、やはり計画当初というところはすごく重要だというふうに思いました。また、事業期間が延びることに対しては、事前評価とか内部評価されているところで、人命に関わるところだと、多分そこが一番大きいところで早期着手といったところで進められたというふうに理解をしていますが、結局延びてしまうし、そうなると、例えば代替案②は調節池でうまくやるということで、この案は1.0を下回っているので補助金の対象にならないという話ですが、こちらの方が9年ほど期間が短い。また、今後の費用対効果というところは多少なりともあると考えると、ここは1.0に近づいているってところはすごく心配に思うところです。

この事業自体の必要性は十分に認識をしているわけですが、その必要性の中で費用便益比を使って評価をするというところであると、今後これがどういうふうに動くのかはすごく重要なところだと思って、内部評価の方でもコスト削減には引き続き取り組むとありますが、やはりそこはすごく重要なところだと思っています。

●事業課

費用便益比につきましては、事業着手するには1を超えることが原則ですので、代替案②は難しいと考えております

また、事業期間が長いのではないかとということにつきましては、例えば3号分水路の工区分け等を工夫しつつ、なるべく工期を短縮できるように努めて参りたいと思います。

○構成員

少し関連するかもしれませんが、代替案②は調節池と河道拡幅をうまく組み合わせたら、適切な組合せもあるのではないかと考えたのですがいかがでしょうか。代替案②について、もうちょっと具体的に教えてもらえますか。

●事業課

代替案②につきましてはこれ以外にも複数案を検討しております。この調節池で24 m³/s 調節するという計画にしていますが、これは段階的にどれぐらい調節していくかを計算して、一応分水路は残しながらも調節池の負担量を増やすとか、そういう

検討なども行った結果、どうしても事業費や事業期間にメリットがなかったので、調整池を最大限大きくしたうえで分水路をなくすというわかりやすい案を示しています。それ以外にもいろいろ検討した結果、現在の案が一番わかりやすい状況です。

○構成員

これは最大限頑張ってみたけれども、やっぱりB/Cが0.92で限界だった、ということですね。今日現地でホタルの道を見てみて、皆さんホタルを大事にされているのだなと感じる中で、3号分水路の工事期間が長くなると、影響も大きくなってしまふのかなと思っております。ホタルを守ろうとするのであれば、岩盤によって工事する時の騒音振動が問題になるかもしれないし、そういったところの対策・配慮も必要になってくるのではないかと思います。そうしますと、費用が本当にこれで収まっていくのかというのがちょっと心配だなと思いました。先ほどのコメントと似たものにはなりますが、必要予算の管理をしっかりとやっていかないといけないと思いました。

それと、スライド9について、今日現地を見学させていただいて、結構狭いところを拡幅される予定だということがわかりました。資料上は家を川から若干遠くに書いてありますが、実際は結構近かったと思います。この辺も2億円増額ですけれども、今後、費用が増えていかないようによくよく考えておかないと、結構厳しい工事との印象を受けました。

○座長

関連してですが、代替案②で、補助採択基準を満たさないので市の負担が大きいということですが、B/Cを計算するときのCは全額ですか、それとも市の負担金ですか。

●事業課

全体事業費です。

○座長

補助を受けたとしてもB/Cは変わらないということですね。

●事業課

はい。

○座長

前のご質問と同じように、B/Cが1.0に近いところで、感度分析もやられていますが、家の方に何か影響があったりすると、これから増額が出た場合にかなり大きくなるのではないかとのご心配かと思います。

●事業課

ご心配いただいております事業費や事業期間等につきましては、これからもいかにコスト縮減を図っていただけるのか、事業期間を少しでも短縮できないかという点につい

て、引き続き検討してまいりたいと考えております。さらに費用便益比につきましても、1.0を切らないように努めて参りたいと考えております。

○構成員

現地を視察したときに、調節池のところの地質調査は今からされると言われていましたが、それがわかることによって、事業費が増額とか、そういった懸念はないのでしょうか。

●事業課

調節池につきましては深さが約3m程度になりますが、今の高さから1.5m程度の盛土を行いますので、実質は1.5m程度しか掘らない計画となっています。

3号分水路についても岩盤が出てくるのが今の高さから3m程度下なので、調節池についても近くのボーリング調査を確認しておりますが、おそらく岩盤は出ないだろうという想定で進めているところです。

○座長

今の質問は弾薬による土壌汚染のことではないでしょうか。

●事業課

弾薬につきましては、職場内にある資料等を確認しておりますが、そこについては大丈夫ではないかと思っておりますが、着手前にきちんと試験掘りをするなど事前に確認して参りたいと思っております。

●事業課

平地のところには当時から弾薬は保管していなくて、山裾のような攻撃を受けないところに保管して持ち出すという感じであったと聞いております。

○構成員

必要性に関する議論ではありませんが、今回の事業を仮に推進していくとなった場合、例えばホテルの愛護団体の方ですとか、そういった方のご理解を得られるかどうかというあたりで、どういう説明をされていくのかという点について教えていただければと思います。

●事業課

地元の方には昨年2回ほどご説明させていただいております。今後も引き続き工事に着手する前にしっかりとご説明させていただきます。また、道路につきましては広域で利用される方もいらっしゃいますので、広域での周知も図って参りたいと考えております。今回の事業内容等につきましては、北九州市内部の調整会議においても市民の方に対して丁寧にわかりやすく説明することに努めるよう言われております。しっかりと説明等を行って参りたいと考えております。

////////////////////////////////////
////////////////////////////////////
////////////////////////////////////
○座長

それでは、構成員の皆様から色々な意見をいただいたところです。

費用の増額について、質問が多かったところでございますけれど、基本的にこの事業の必要性や継続に対する懸念は示されなかったかと思います。

そういう意味で、構成員の皆様は当該事業を継続していくことについてはご意見やご異議はないということによろしいでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。

それでは、当該事業については計画通り推進していくことを前提とした上で、検討会議としてはやはり少し意見を付け加えさせていただくということになるかと思えます。

一つ目は、事業費の増額の件です。早期着手を目指されたということですが、警察協議あるいはNTT管については事前に調べることが可能だったのではないかとこの点です。事業評価においてはやはり事業期間についても事業費についても大幅な変更がないということが期待されるかと思えます。そういう意味では、今後こういうことができるだけないようなやり方というのは、他の道路などもそうですが、事前にできることがあると思えますので、今日のこの事業に限ることではなく、どういう仕組みをとれば予期せぬ事業費なり事業期間の増大を最低限にできるかということについて、何かしらの工夫を仕組みとして検討していただきたい。それぞれの課で気を付けるというよりは、どうすべきかということをして市全体として議論していただくことが大事かと思えます。

二つ目は、B/Cのことですが、1.0に近いところにありますので、今後事業費の増額なり事業期間が延びるということになれば、1.0を下回るものが危ぶまれるところにあるかと思えます。これにつきましては、できるだけ早期の実現で期間を短縮することと、工費の削減を引き続き努力していただいて、B/Cの確保に努めていただきたい、ということです。

三つ目は、周辺の方々やホテルの愛護団体の方々、それから道路を広域利用される方を含めて、説明・広報等をしっかりしていただきたいということです。

以上の三点かと思えますがよろしいでしょうか。

(異議なし)

では、以上三点につきましてはこの会議からの要望・意見とさせていただきたいと思えます。

具体的な記載内容については座長の私がお預かりして、事務局と調整させていただ

きます。よろしいでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。

では1件目については以上とさせていただきます。